

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品(製品)の名称	QMIバイオガードⅡ B剤
会社名	株式会社ソヴリン
住所	〒468-0052 愛知県名古屋市中白区井口一丁目601番地
電話番号	052-802-6378
FAX	052-805-0699
作成日	2013年8月30日
改訂日	2021年7月20日
推奨用途及び使用上の制限	本製品の主な用途は除菌・消臭剤である

2. 危険有害性の要約

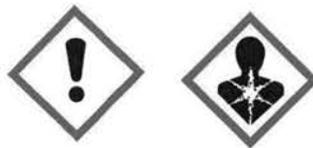
GHS分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	生殖細胞変異原性	区分1
	生殖毒性	区分1

上記で記載がない危険有害性は「分類できない」。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き

【安全対策】

取扱い後は、手や顔をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。

【応急措置】

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
組成および含有量

化学名	濃度 wt%	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR法 No.	毒劇法 No.
1,1'-ジデシル-3,3'-[ブタン-1,4-ジイルビス(オキシメチレン)]ジピリジニウム=ジプロミド	1未満	851761-75-6	5-6898	非該当	非該当	非該当
プロパン-1,2-ジオール	1未満	57-55-6	2-234	非該当	非該当	非該当
エタノール	0.45	64-17-5	2-202	(9)-61	非該当	非該当
さとうきび抽出物	0.0002	91722-22-4	非該当 (天然物)	非該当	非該当	非該当
水	98.5498以上	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当

化審法No.: 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)官報公示整理番号

安衛法No.: 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 政令番号

PRTR法No.: 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法) 政令番号

毒劇法No.: 毒物及び劇物取締法 政令番号

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気の場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸をしながら嘔吐がある場合は頭を横向きにする。呼吸が止まっている場合には、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。異常が認められる場合には、医師の診断を受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐ。接触した部分を水で十分に洗い流すこと。皮膚に異常が認められる場合には、医師の診断を受けること。
眼に入った場合	一刻も早く水で洗浄を始め、数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに眼科医の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	水で口の中をよく洗浄すること。意識があり可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医師の診断を受けること。意識が無い場合には、決して口から何も与えないこと。
応急措置をする者の保護	救助者はゴム手袋の他、蒸気、飛沫及びミスト等が発生する場合には、適切な保護眼鏡、保護マスクを着用する。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	遅発症状として不快感、頭痛、全身倦怠感を示す場合がある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 使ってはならない消火剤 特有の消火方法	噴霧水、粉末消火剤又は炭酸ガス消火剤を使用すること。 情報なし。 発火源を断ち、消火剤を用いて消火すること。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移すこと。移動できない場合には、周辺に水を噴霧して冷却すること。燃焼時に炭素酸化物、窒素酸化物等のガス又は加熱により蒸気を発生する為、消火作業は風上から行き、発生したガスにばく露しないようにすること。
消火を行う者の保護	消火作業では適切な防護服を着用すること。必要があれば、自給式呼吸器を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	飛沫やミストが発生している場合には、吸入したり、眼に入らないようにすること。屋内で漏出した場合には、処理が終わるまで十分に換気を行うこと。作業の際には適切な保護具を着用し、本製品の皮膚や眼への付着や、ガスの吸入を防ぐこと。
環境に対する注意事項 封じ込め、浄化の方法 及び機材	本製品及びその洗浄水を土壌、河川及び下水設備等に排出しないこと。 少量の漏出の場合には、ウエス等の吸収材で回収し、可能な限り拭き取る。多量の漏出の場合には、密閉式の廃棄用の容器に可能な限り回収した後、ふき取り、多量の水で洗い流すこと。 廃棄に関しては、国及び地方自治体の規則に従って処分すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策	通常の一般的な全体換気を行うこと。飛沫やミストが発生する場合には、局所排気装置を使用すること。
安全取扱注意事項	十分に換気されている場所で取り扱うこと。本製品に長時間接触する場合には、皮膚や粘膜に刺激を与えることがある為、適切な保護具を着用し、身体への付着やガスを吸入しないよう注意すること。本製品を噴霧することを避けること。噴霧して使用する場合には、ミストを吸入しない為の保護マスク及び保護眼鏡等を着用すること。過熱を避けること。直接食品に触れる機器類に使用する場合には、使用後に水で十分に洗い流すこと。強酸化剤や他の洗剤、殺菌剤などの混合は避けること。
衛生対策	本製品の使用後は十分に手洗い及びうがいをを行うこと。食品に接触しないよう注意すること。
保管 安全な保管条件	十分に換気された冷暗所に密封して保管すること。内容物の漏出を防ぐ為、容器をまっすぐに立てて保管又は運搬すること。
安全な容器包装材料	鉄を腐食する可能性がある為、ポリエチレンやガラス、ステンレス等の容器に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

日本産業衛生学会	情報なし
ACGIH	
(米国産業衛生専門家会議)	情報なし
OSHA	
(米国労働安全衛生局)	PEL(許容ばく露限度): 1,000 ppm、1,900 mg/m ³ (エタノールとして) <*1>

設備対策

局所排気装置などの換気装置を設置すること。作業区域に洗眼設備を設置すること。

保護具

呼吸用保護具	必要に応じて、ミスト用あるいはガス用の保護マスクなどの保護具を着用すること。
手の保護具	不浸透性の保護手袋を着用すること。
眼の保護具	サイドシールドつきの保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	通常の長袖の保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色透明～淡褐色透明
臭い	わずかな特有のにおい
沸点又は初留点 及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び 爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	水及びエタノールに易溶
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の使用条件下では安定。
化学的安定性	通常の使用条件下では安定。
危険有害反応可能性	情報なし。
避けるべき条件	含有しているエタノールの蒸気は空気と混合し、爆発の危険をもたらすことがある。
混触危険物質	強酸化剤、他の洗剤(アニオン系)、殺菌剤、鉄
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	製品としてデータなし
皮膚腐食性/刺激性	製品としてデータなし
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	製品としてデータなし
呼吸器感作性 又は皮膚感作性	製品としてデータなし
生殖細胞変異原性	製品としてデータなし
発がん性	製品としてデータなし
生殖毒性	製品としてデータなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	製品としてデータなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	製品としてデータなし
誤えん有害性	製品としてデータなし

12. 環境影響情報

生態毒性	製品としてデータなし
残留性・分解性	製品としてデータなし 一部に難分解性の成分を含有している
生体蓄積性	製品としてデータなし
土壤中の移動性	製品としてデータなし
オゾン層への有害性	製品としてデータなし

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
国及び地方自治体の規則に従って処理すること。地方自治体の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する
こと。

※必ず当該地域の廃棄規制をご確認ください。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
国内規制	
海上	非該当
航空	非該当
陸上	非該当
特別の安全対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認すること。内容物の漏れを防ぐ為に容器をまっすぐに立てて運搬すること。夏場の輸送時においては、熱い鉄板や地面の上に直接置かないこと。

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

PRTR法	非該当
化審法	優先評価化学物質 該当(106 プロパン-1,2-ジオール) 旧第二種及び旧第三種監視化学物質 該当 (933/119 1,1'-ジデシル-3,3'-[ブタン-1,4-ジイルビス(オキシメチレン)]ジピリジニウム=ジプロミド)
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 該当 (別表9の61 エタノール)
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非危険物
水質汚濁防止法	窒素含有量許容限度120mg/L (施行令第三条)
下水道法	窒素含有量 (施行令第九条の五等)

16. その他の情報

主な引用文献	化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)(国際連合) 使用原料の安全データシート
--------	---

ここに記載された危険性・有害性の情報は現時点で入手できた資料や情報に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。化学物質の有害性には、予見できないこともあり、取扱いには細心の注意を払って下さい。記載事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。また、この情報は新しい知見および試験等により改正されることがあります。本データシートは、日本国内法令・日本化学工業協会のSDS作成指針に従って作成しており、日本国外での使用や輸送を想定したものではありませんのでご注意下さい。